

ジオマッシュアップで SVG タイルセットを使う

[図形型タイルセットのエクスポート (Export Geometric Tileset)] 処理で作った SVG 図形型タイルセットは、Google マップや Open Layers などの Web 上の地図にジオマッシュアップによりオーバーレイとして使うことが出来ます。SVG 図形型タイルセットは、ベクタデータのポイント、ライン、ポリゴンの他にテキストラベルからも複雑なスタイルを変換することができます。それら全ては、高品位なレンダリングに用いられるアンチエイリアス処理のような標準的なグラフィックス効果でブラウザに表示されます。SVG タイルセットを使ったジオマッシュアップでは、地図要素の属性情報を示す情報ウィンドウのポップアップ表示の他、SVG タイルから動的に作られたクリック可能な凡例が作られます。SVG 図形タイルセットによって提供される情報コンテンツや、凝った地図記号を使った表現、効率的な表示の数々は、KML 図形タイルセットや標準的なラスタによるウェブタイルセットに比べて、Google マップや Open Layers 用のジオマッシュアップにおいて、より優れたタイルマップデータと言えます (テクニカルガイドの「タイルセット：SVG 図形タイルセットの構造」参照)。

SVG 図形型タイルセットは、ローカルドライブや Web 上の遠隔地から [ジオマッシュアップの構築 (Assemble Geomashup)] 処理の [オーバーレイ (Overlays)] パネルに追加することができます (右上の図参照)。タイルセットを追加するときは、〈カスタム設定 (Custom Settings)〉ウィンドウが自動的に開き、情報ウィンドウのサイズや凡例に関するオプションを指定することができます。

情報ウィンドウサイズの制御

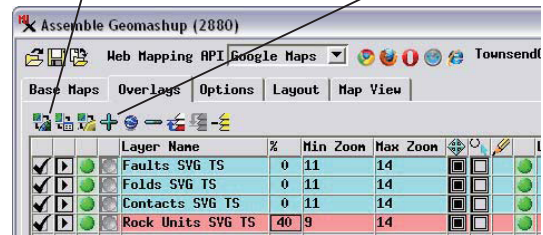
ベクタオブジェクトから SVG 図形型タイルセットを作る際、ベクタ要素で設定したデータティップの属性情報がタイルセットの SVG ファイル中の同じ要素に転写されます。Google マップや Open Layers によるジオマッシュアップにおいて要素の上で左クリックすると、その要素に関連付けられた属性情報が情報ウィンドウとして表示されます。ジオマッシュアップの構築処理の〈カスタム設定〉ウィンドウでは、ブラウザに表示する情報ウィンドウのサイズ (最小幅、最大幅、最大高さ) を制御することができます。情報ウィンドウのコンテンツが設定した最大幅や高さを超えた場合、自動的に情報ウィンドウにスクロールバーが現われ、全体のコンテンツをスクロールして見るようになります。

凡例オプション

SVG 図形型タイルセットに対してジオマッシュアップで凡例を表示するには、〈カスタム設定〉ウィンドウの [Legend Options (凡例オプション)] の [レイヤーコントロールに表示する (Show in Layer Controls)] のトグルボタンをオンにします。すると、ジオマッシュアップコントロールの一部に凡例が現われ、属性値の他にそれぞれの属性に対するスタイルのサンプルが表示されます。凡例の属性は、SVG 要素の名前 (name) プロパティから読み込まれます。そして名前プロパティは元のベクタオブジェクトにおける該当要素

のデータタイプ設定に基づいて、SVG タイルにセットされています。従って、ジオマッシュアップで有用な凡例を作るには、元のベクタオブジェクトで「属性による」を使って要素スタイルを設定し、データタイプも同じ属性を参照するようにします。(詳しくはテクニカルガイドの「ジオメディアの公開：ジオマッシュアップの際の図形レイヤーの凡例」をご覧ください)。

リモートタイルセットや KML の追加 オーバーレイの追加



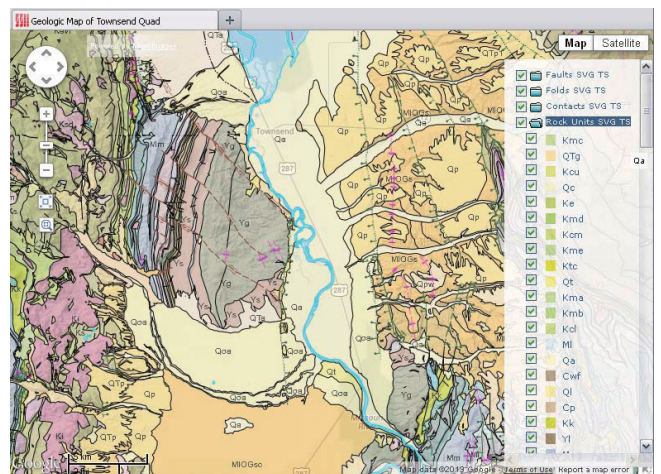
ジオマッシュアップに SVG 図形型タイルセットを追加するには、[オーバーレイ (Overlay)] パネルを使います。ウェブ上の SVG タイルセットを追加するには [リモートタイルセットや KML の追加 (Add Remote Tileset or KML)] ボタンを使い、ローカルドライブ上の SVG タイルセットを追加するには [オーバーレイの追加 (Add Overlay)] ボタンを使います。



地図要素のデータティップ (DataTip) 情報を Google マップや Open Layers で表示するための情報ウィンドウのサイズ設定

ジオマッシュアップのレイヤーコントロールにおいてレイヤーに対してクリック可能な凡例を表示するためのオプション

ジオマッシュアップした図形レイヤーの凡例は、レイヤー名の隣にあるフォルダーアイコンを左クリックすることで、開いたり閉じたりすることができます (下図を参照)。ジオマッシュアップの構築処理の〈カスタム設定〉ウィンドウにある Legend Options (凡例オプション) を使えば、凡例フォルダーを最初に開いておくか、閉じておくかを設定することができます。



地質ポリゴンや地質境界、褶曲ライン、断層線を含む地質図を表す SVG 図形型タイルセットのジオマッシュアップ。地質ポリゴンレイヤーに対する凡例には、ポリゴンの塗りつぶしカラーとそれぞれの岩体の略称が表示されています。